

平成29年度事務事業評価シート

No.224

平成29年6月29日作成

事業番号	158		担当課等		環境課						
事務事業名	狂犬病予防推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	04	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
ゆがわら2011プラン 後期基本計画					
関連する個別計画					
目的	狂犬病の発生予防、まん延防止をする。				
対象	町民				
内容	狂犬病予防法及び動物愛護及び管理に関する法律に基づく犬の登録事務及び神奈川県獣医師会の協力による狂犬病予防集合注射の実施				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		99,987	191,592	269,000		
	人件費	常勤職員	351,255	462,630	450,000		
		非常勤職員等					
		人件費合計	351,255	462,630	450,000		
	総事業費		451,242	654,222	719,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		451,242	654,222	719,000		
	財源合計		451,242	654,222	719,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
畜犬登録数			事業の対象	頭	1,511	1,491	
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
狂犬病予防注射済票交付数			実績	頭	1,076	1,082	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	犬の鑑札交付及び、狂犬病の予防注射を実施した者への注射済票交付事務は、狂犬病予防法で市町村の事務となっている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	平成28年度は11会場、4日間かけて実施しており、広く注射の機会を設けているため効率的である。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	日本国内では昭和31年以来発症例がないことから、成果は得られていると思われる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	狂犬病発生予防にもなっており、受益の機会は均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	既に神奈川県獣医師会に犬の登録・注射促進協力業務等の一部を委託している。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	狂犬病予防法において市町村事務となっており、また神奈川県獣医師会の協力もあることから、現状維持とする。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	狂犬病予防法による事務であり、現状維持とする。
------	----------	-------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.225

平成29年6月29日作成

事業番号	159		担当課等		環境課					
事務事業名	浄化槽設置整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	04	事業開始年度	平成 15 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P90 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅱ 快適な住環境の 構築	2 し尿・浄化槽汚泥 処理	(1) し尿・浄化槽汚泥 処理体制の充実	① 新たなし尿・浄化槽 汚泥処理体制の確立
関連する個別計画					
目的	下水道全体計画区域外の地域で、単独処理浄化槽及び汲み取り式便槽を、合併処理浄化槽への転換を促進することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。				
対象	町民(下水道全体計画区域外在住の町民)				
内容	下水道全体計画区域外の地域で、専ら居住の用に供する建物の単独処理浄化槽及び、汲み取り式便槽を、合併処理浄化槽に転換するものに補助金を交付。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		12,000	11,000	344,000		
	人件費	常勤職員	88,849	61,684	60,000		
		非常勤職員等					
		人件費合計	88,849	61,684	60,000		
	総事業費		100,849	72,684	404,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		100,849	72,684	404,000		
	財源合計		100,849	72,684	404,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
浄化槽設置基数			公衆衛生の向上	基	0	0	
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	町の下水道計画外の生活環境保全のため必要である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	4	近年実績がなく、整備費の費用は支出していないが、申請があれば効果が期待できる。
類似性	他事業との類似はないか		
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	該当する世帯が少なく、平成23年度からは実績が0である。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	補助対象の町民に対しては、受益の機会は均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 町の補助金交付に関するため
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	現在、国の交付金(循環型社会形成推進交付金)の地域計画では平成30年度までの計画となっているので現状維持とする。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	循環型社会形成推進交付金の地域計画が平成30年度までの計画であること及び対象世帯は少ないが存在することから継続する必要がある。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.226

平成29年6月29日作成

事業番号	160	担当課等	環境課							
事務事業名	環境保全推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	04	事業開始年度	平成 16 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P82 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	I 自然環境の保全			
関連する個別計画					
目的	環境に配慮した車の普及及び新エネルギーの活用を検討し、地球温暖化防止を推進する。また、猫の不妊及び去勢手術費を助成することにより、飼育される見込みのない猫の増加を抑えるとともに猫による住環境の悪化を防ぐ。				
対象	町民				
内容	- 電気自動車を新規に購入・リースした者に1台50,000円の補助金を交付する。 - 猫の不妊手術に対して3,000円を限度に、去勢手術に対して2,000円を限度に助成金を交付する。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)	
	事業費		879,400	773,808	408,000	
	人件費	常勤職員	449,919	370,104	480,000	
		非常勤職員等				
		人件費合計	449,919	370,104	480,000	
	総事業費		1,329,319	1,143,912	888,000	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		1,329,319	1,143,912	888,000	
	財源合計		1,329,319	1,143,912	888,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
太陽光補助金交付件数		自然エネルギーの有効活用	件	15	14	
電気自動車補助金交付件数		電気自動車の普及	件	2	0	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
太陽光補助金設備設置数(町内)		自然エネルギーの有効活用	台	15	14	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	町が補助金を交付し、町民が積極的に設置導入することは地球温暖化防止等に対する意識向上のため、必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	町民の地球温暖化防止等への意識は向上していると思われる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	太陽光設備設置については、平成19年度の補助金交付開始以来、平成28年度まで171件の補助実績があり一定の成果は得られた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	設置する町民に対しては受益の機会は均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		太陽光設備設置費補助金については、平成28年度末で終了。 電気自動車導入補助金については平成27年度に3年間の期間延長をした。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町の補助金交付に関するため
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	太陽光設置費補助金と電気自動車導入補助金は期間延長し、一定の成果も上がったと思われる。今後新たなエネルギーについての調査・研究、及び省エネルギー対策の検討を進める。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	新たなエネルギーについての調査・研究、検討を進めること。
------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.227

平成29年6月29日作成

事業番号	162		担当課等		環境課						
事務事業名	町内美化推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	05	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P92 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅱ 快適な住環境の 構築	3 環境衛生	(1) 生活環境の保全	
関連する個別計画					
目的	町内の美化を保持し、環境美化を推進することを目的とする。				
対象	町内各所				
内容	毎年1回の「クリーン&グリーン大作戦」の実施や公衆便所清掃の委託、海岸の美化保護のための「かながわ海岸美化財団」への負担金				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		1,827,316	1,586,961	1,723,000		
	人件費	常勤職員	47,031	46,263	45,000		
		非常勤職員等					
		人件費合計	47,031	46,263	45,000		
	総事業費		1,874,347	1,633,224	1,768,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		1,874,347	1,633,224	1,768,000		
	財源合計		1,874,347	1,633,224	1,768,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
クリーン&グリーン大作戦			環境美化の実績	日	1	0	
公衆便所清掃回数			環境美化の実績	回	197	197	
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
クリーン&グリーン大作戦ごみ回収量				kg	18,690	0	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	町内の美観や環境美化を保持するために必要な事業で、観光立町である本町にとって、美化の維持は必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	事業実施のための事務費や公衆便所の清掃委託料、負担金等の経常的な経費が主なものであり、効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	クリーン&グリーン大作戦の実施により、環境美化の意識高揚を図ることができ、美化推進の目的は達している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町内全域を対象としており、受益の機会は均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 既に公衆便所の清掃業務を委託している。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	美観の維持、環境美化を保持するため、現状維持とする。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	観光立町である本町において、美観の維持は重要な事項で、町民の環境美化の意識を高揚させるためにも現状維持とする。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.228

平成29年6月29日作成

事業番号	163	担当部課	環境課								
事務事業名	不法投棄・散乱ごみ防止事業										
予算科目コード	会計	01	款	04	項	01	目	05	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P92 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅱ 快適な住環境の 構築	3 環境衛生	(1) 生活環境の保全	② 不法投棄や野焼きの 防止
関連する個別計画					
目的	不法投棄物や、街中の散乱ごみをなくすことを目的とする。				
対象	町内各所				
内容	町内の道路や河川などにおける不法投棄物や散乱ごみの撤去、ポイ捨て防止 木製ごみ箱からのごみ回収及び不法投棄パトロールの実施				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区分	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)	
	事業費	6,034,699	5,658,699	5,844,000	
	人件費				
	常勤職員	23,516	23,132	23,000	
	非常勤職員等				
	人件費合計	23,516	23,132	23,000	
財源内訳	総事業費	6,058,215	5,681,831	5,867,000	
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	6,058,215	5,681,831	5,867,000	
活動指標	財源合計	6,058,215	5,681,831	5,867,000	
	活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度 目標値
	監視パトロール等の回数	箇所が発見、撤去	回	24	24
	成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度 目標値
	不法投棄物回収量		kg	5,274	4,621

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	観光立町である本町において、不法投棄されたごみを放置することは、観光地としてイメージダウンとなり、環境美化を促進するために必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	地域が広範囲であり、不法投棄された箇所が回収困難といった場所もあるが、一定の効果を上げている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	不法投棄されたごみを回収することにより、環境美化を図っている。また、パトロールを実施することにより、不法投棄の発見、防止に努めており、成果を得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	特定の住民を対象としておらず、受益の機会は均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		監視カメラの設置やパトロールにより、不法投棄場所の発見や防止を図った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	既に不法投棄物処理、監視パトロール業務、ポイ捨て防止木製ごみ箱のごみ回収及び小動物処理業務等を委託している。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	環境美化事業で、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法の代替事業でもあるため、現状維持とする。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	観光立町である本町において、環境美化は重要な施策であり、不法投棄されたごみを適切に処理する必要があるため、現状維持とする。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.229

平成29年6月29日作成

事業番号	168	担当部課	環境課								
事務事業名	ごみ収集対策事業										
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	02	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P89 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅱ 快適な住環境の 構築	1 循環型社会の構 築	(2) ごみ処理体制の 充実	① ごみ収集体制の充実
関連する個別計画	湯河原町ごみ収集業務計画				
目的	ごみの効率的収集を円滑に進めるための事業				
対象	町民				
内容	ごみ収集を実施。収集については、「湯河原町ごみ収集業務計画」に基づき順次民間委託に切り替える。また、ごみステーション周辺の美観保持、居住環境の向上を図るため、「湯河原町ごみ集積箱設置費助成金交付要綱」に基づき、近隣住民が共同で設置するごみ集積箱の経費の一部を助成。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区分	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)	
	事業費	42,907,735	44,318,092	60,467,000	
	人件費				
	常勤職員	75,688,556	67,007,329	57,680,000	
	非常勤職員等	5,149,888	6,320,092	316,000	
	人件費合計	80,838,444	73,327,421	57,996,000	
財源内訳	総事業費	123,746,179	117,645,513	118,463,000	
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	123,746,179	117,645,513	118,463,000	
活動指標	財源合計	123,746,179	117,645,513	118,463,000	
	活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度
	収集回数		回	284	284
	成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度
	収集実績		kg	13,654	12,923
					目標値
					12,000

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規定により、一般廃棄物の収集、運搬、処分については、市町村が行うこととなっているため、必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	湯河原町ごみ収集業務計画に基づき、奥湯河原、温泉場、宮上、土肥、門川、宮下・城堀の一部のごみの収集を民間に委託し、効率的に実施している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	平成15年度からごみの収集の民間委託を開始し、平成24年度には、その範囲を拡大した。平成32年度には全町において委託する予定であるが、収集事業の成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	現在は、委託区域が一部であるが、収集方法等については全町一律であるので、受益の機会は均等であるといえる。
平成28年度までの自己評価または改善点		平成15年度からごみの収集を直営から一部地域について委託を開始した。平成24年度には、その地域を拡大した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	既に一部地域の収集を委託しており、平成32年度には全町委託予定。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	湯河原町ごみ収集業務計画に基づき実施しており、新たに「福浦」、「川堀」、「吉浜」、「中央の一部」を民間委託する。	
平成30年度以降の方向性	湯河原町ごみ収集業務計画に基づき実施しているため、現状維持とする。 なお、退職者を補充せず、平成32年度には全町の収集業務を委託する予定で、人件費の削減が図られる。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	法令に基づき実施している事業で、ごみの収集は、住民生活に欠かせない事業であるため、現状維持とする。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.230

平成29年6月29日作成

事業番号	169	担当部課	環境課							
事務事業名	リサイクル推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	02	事業開始年度	平成 16 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P88 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅱ 快適な住環境の 構築	1 循環型社会の構 築	(1) 3Rの推進	① リサイクル・リユースの 促進
関連する個別計画					
目的	町民一人ひとりの意識啓発による分別の徹底、リサイクル・リユースに対する意識の向上を目指し、資源回収活動の活性化を図る。				
対象	町民				
内容	・「びんカンステーション」において分別指導員により分別について指導してもらう。 ・資源ごみを定期的に回収している登録団体へ奨励金を交付。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)	
コスト	事業費	1,093,139	1,057,920	1,766,000	
	人件費	47,031	46,263	45,000	
	非常勤職員等				
	人件費合計	47,031	46,263	45,000	
	総事業費	1,140,170	1,104,183	1,811,000	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	1,140,170	1,104,183	1,811,000	
財源合計		1,140,170	1,104,183	1,811,000	
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度
奨励金交付団体数		資源回収量に影響	件	13	14
びんかん指導員数		資源回収量に影響	人	延べ1,409	延べ1,422
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度
資源回収団体回収量			kg	42,127	37,924
					43,000

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	限りある資源を有効するため、資源循環・再利用は必要不可欠であり、町として廃棄物の適正処理を町民に促し、また奨励することは妥当である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	交付団体数に大きな変化はないが、町民のリサイクルへの関心が向上し、一定の数量を回収できている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	交付団体数に大きな変化はなく、資源の回収量に関しては10年前より減少しているが、近年安定した回収実績を残しているため、一定の成果が得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	資源回収団体に所属している町民に対して、受益の機会均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 町が謝礼、奨励金を支出し「びんかんステーション」分別指導員、資源回収団体が実施している。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	ごみの資源化を向上させるため、現状維持とする。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	ごみの減量化を図り、限りある資源を有効利用するため必要な事業で、町民のリサイクル、リユースに対する意識の向上のため、現状維持とする。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.231

平成29年6月29日作成

事業番号	170		担当課等		環境課						
事務事業名	ごみ減量化促進事業										
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P88, 89 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安心のまちづくり	Ⅱ 快適な住環境の構築	1 循環型社会の構築	(1)(2) 3Rの推進・ごみ 収集体制の充実	②① リデュースの促進・ご み収集体制の充実
関連する個別計画					
目的	ごみの発生抑制を推進する。				
対象	町民				
内容	・粗大ごみの受付、収集処理券等の印刷、販売。 ・コンポスト及び電動式生ごみ処理機の購入者に対して助成金を交付。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		574,622	74,372	123,000		
	人件費	常勤職員	1,059,173	1,619,205	2,100,000		
		非常勤職員等					
		人件費合計	1,059,173	1,703,000	2,100,000		
	総事業費		1,633,795	1,772,000	2,223,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		1,633,795	1,772,000	2,223,000		
	財源合計		1,633,795	1,772,000	2,223,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
粗大ごみ収集券販売			町民の購入数	件	1,836	2,011	
生ごみ処理器設置費助成金			導入促進	件	5	7	
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
ごみの排出量				t	13,654	12,923	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	ごみの減量化は国民の責務であり、町はごみ搬出の抑制をするとともに、その啓発に努めなければならない。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	事業の性質上、すぐに効果が表れるものではないが一定の効果はあると思われる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	即時に成果が表れるものではないが、今後成果が上がってくると思われる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	希望の町民に対して、受益の機会は均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点		平成28年度から可燃ごみは指定ごみ袋制となり、当初一部の袋が品薄状態となったが、現在は解消し、十分な在庫、配送体制により安定供給できている。ただし、要望の多いサイズの袋の作製をする必要がある。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	現状は町直営事業としている
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	- 指定ごみ袋に新たな種類として20ℓ及び90ℓ(厚口)を追加した。 - 月1回のペットボトルキャップの拠点回収をペットボトルの日に通常のごみステーションで回収を始めた。 - 廃食用油の回収についても検討する。	
平成30年度以降の方向性	引き続き町民に対して、ごみと資源の分け方や出し方について広報するとともに、今後の分別収集の拡大を検討し、ごみ減量施策を推進する。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	さらなる分別収集、ごみ減量施策について研究していくこと。
------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.232

平成29年6月29日作成

事業番号	172	担当部課	環境課								
事務事業名	し尿等処理事業										
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P90 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅱ 快適な住環境の 構築	2 し尿・浄化槽汚泥 処理	(1) し尿・浄化槽汚泥 処理体制の充実	① 新たなし尿・浄化槽汚 泥処理体制の確立
関連する個別計画					
目的	環境衛生を確保するため、くみ取り式便所のし尿や浄化槽の汚泥処理を行う。				
対象	町民				
内容	町内におけるし尿等の収集及び処理について処理業者に委託				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区分	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)	
	事業費	71,167,693	64,413,791	61,415,000	
	人件費				
	常勤職員	313,540	308,420	300,000	
	非常勤職員等				
	人件費合計	313,540	308,420	300,000	
財源内訳	総事業費	71,481,233	64,722,211	61,715,000	
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	71,481,233	64,722,211	61,715,000	
活動指標	財源合計	71,481,233	64,722,211	61,715,000	
	活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度
	収集・運搬日数		日	243	243
	成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度
	収集運搬量		kℓ	4,845	4,685
					4,400

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規定により、一般廃棄物の収集、運搬、処分については、市町村が行うこととなっているため、必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	本町にはし尿処理施設がないため、処理を外部に委託しているが、一定の効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	し尿処理に関し、委託先で確実に処理されているため、目的を達している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	手数料について、条例で規定しており、受益の機会は均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点	平成14年3月にし尿の海洋投棄を中止し、し尿処理を委託した。また、平成24年5月から凍結されていた熱海・湯河原・真鶴し尿等共同処理検討会を再開し、し尿処理についての基本構想等を検討した。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	既にし尿処理は委託している。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	熱海市が先行して下水道投入方式を決めたことを受け、真鶴町とし尿等の処理方法等について検討をしている。	
平成30年度以降の方向性	し尿等の処理については熱海市は現在の貯留施設の老朽化による緊急性から下水道処理施設で処理することとなったが、足柄上衛生組合との関係に配慮しながら真鶴町とともに今後の方式について検討する。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	法令に基づき実施している事業で、環境衛生を保持するため必要な事業であり、処理方法等を検討しているため、現状維持とする。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

足柄上衛生組合については、小田原市・南足柄市の動向に注視する必要がある。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--